



きたいと考えています。

また、高齢者の楽しみや生きがい作りとして、カメラを持って外に出かける、友人と出かける時にカメラを持って行くなど高齢者の活動範囲が広がっていくと考えています。

さらに、写真展の開催によって、撮影者と地域住民が交流し、地域の良さや住民同士の繋がりを作り、地域活動に結びつけていきたいと考えています。

令和6年度実施した「男の料理教室」についても、継続を願う声が多かったため、継続して実施していきたいと考えています。

## 7. 事業内容

上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。

今年度の「シニアいきいき塾」は、昨年度実施した「男の料理教室」に加え「私の亀岡再発見」をテーマにした写真展を開催します。写真は多くの方から募集します。また、高齢者を対象にした写真教室も実施する予定です。

写真は人と人との交流のツールになります。高齢者がカメラを持って外出するなど活動範囲が広がります。このように高齢者の生きがい作りと居場所作りに貢献したいと考えています。

なお、写真展には写真教室参加者を始め、広く募集を行い、地域住民との交流の場を作ります。

### ◎「シニアいきいき塾」の開催

#### <男の料理教室の開催>

##### ◆「男の料理教室」の開催

- \*対象者：亀岡市在住の60歳以上の男性
- \*定員：各回約10名
- \*実施時期：9月、11月の土曜日（年間2回予定）
- \*内容：3～4品の料理を作ります
- \*講師：管理栄養士 竹岡順子さん
- \*実施場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター調理室

##### ◆交流会

- \*対象者：男の料理教室参加者
- \*実施時期：男の料理教室終了後
- \*進行：南つつじヶ丘悠遊倶楽部役員
- \*内容：・地域の課題について意見交換
- \*実施場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター会議室

##### ◆「男の料理教室Ⅱ」の開催

- \*より自由な形で料理教室を開催（支援金の対象外事業）

#### <「私の亀岡再発見」写真展の開催>

##### ◆写真展の開催

- \*実施時期：令和8年3月頃
- \*実施場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター及びギャラリーかめおか
- \*内容：「私の亀岡再発見」をテーマに写真展を開催し地域住民との交流を図ります。
  - 南つつじヶ丘コミュニティーセンターでは地域住民の交流を目的として、写真展と併せて、イベントを実施します。
  - ・「明智かめまる君と写真を撮ろう」コーナーの開設  
写真教室受講者が中心となって、写真展に来られた方と明智かめまる君とのツーショット写真を撮影し、写真をプレゼントします。写真展を見るだけで無く、かめまる君と一緒に亀岡の良いところを感じてもらおうとともに、参加者同士の交流を深めてもらいます。
  - ・ミニサロンの開設  
写真展参加者にコーヒー等を提供し、参加者同士が交流できるようサロンを開設します。これらの事業を通じて地域の活性化につなげていきたいと考えています。
  - ギャラリーかめおかでは、「私の亀岡再発見写真展」開催時に「明智かめまる君と写真を撮ろう」コーナーを開設し、亀岡市民の方や市民以外の方にも亀岡の良いところを再発見していただきます。

◆「シニア写真教室」の開催  
 ＊対象者：亀岡市在住の60歳以上の方（男女問わず）  
 ＊定員：各回約20名  
 ＊実施時期：7月、9月、10月、1月（年間4回予定）  
 ＊内容：第1回講座 「カメラの仕組みと撮影の基本」  
 第2回講座 「撮影ポイントとヒント」  
 第3回講座 「亀岡歴史散策と写真撮影会」  
 第4回講座 「楽しい写真の撮り方」  
 ＊講師：フリーカメラマン 栗田 一歩 氏  
 ＊実施場所：南つつじヶ丘コミュニティーセンター 他

●スケジュール（会議、準備、イベント、検証などをいつ行うか、おおまかな計画を記入してください。）

実施時期	実施内容	場所・会場
R7.4 中旬	講師との打合せ	ギャラリーかめおか
R7.6 月上旬	シニア写真教室参加者募集チラシ配布	南つつじヶ丘地域他
7 月上旬 ～ 9 月中旬	シニア写真教室開催  (以降9月、10月、1月に実施予定)  男の料理教室開催  (11月頃2回目開催予定)  (この他随時支援対象外事業として「男の料理教室Ⅱ」を開催)	南つつじヶ丘コミュニティーセンター  歴史散策と写真撮影会は亀岡市内  南つつじヶ丘コミュニティーセンター
R8.2 月上旬 3 月上旬	写真展の作品募集  写真展の開催	南つつじヶ丘コミュニティーセンター 亀岡市内 南つつじヶ丘コミュニティーセンター ギャラリーかめおか
(随時) 毎月上旬	男の料理教室Ⅱ開催  運営委員会(事業実施に当たっての打合せ)	南つつじヶ丘コミュニティーセンター  桜台5丁目集会所

●情報発信方法（ウェブ、チラシ、ポスターなど）

発信媒体	発信量	広報範囲（配布範囲、掲示場所等）
写真展作品募集チラシ	2500枚	地域住民
写真教室募集チラシ	2500枚（各回・年間2回）	地域内住民
男の料理教室募集チラシ	2500枚	地域内住民
ポスター	10枚	会員宅に掲示
掲示用チラシ	1～5枚	自治会掲示板に貼り出し
広報かめおか	写真展、写真教室、男の料理教室の案内	亀岡市内在住の高齢者

## 8. 目標

この事業を地域課題解決に繋げるために①どのような変化・成果を目標として、②そのための事業実施の目標はどう設定するのか、①②の2つの観点から具体的に記入してください。

事業実施に当たって下記の目標を書いてください。

### ① 事業による変化・成果目標

#### ◆「男の料理教室」の実施

「シニアいきいき塾」の「男の料理教室」では、料理方法を学び、自分で料理が出来るようになることだけを目標とはしていません。

3人・4人1組のグループで料理をしますが、各人が材料を切ったり、焼いたり、使い終わった鍋を洗ったり、各々が互いに協力することにより、グループの輪を作り、お互いが協力しながら料理が完成していくプロセスを大事にしています。そのことは、料理教室終了後の「交流会」の中で、地域活動について意見交換するときにも非常に重要な意味を持つと考えています。

当然ながら、料理方法を知ること、家事や調理方法を学び、自分で自分の食事が作れるようになることは重要な目標であり、加えてこれまで以上に家事に関わるようになるなど、男性の意識を変えることも重要な目標です。昨年度実施した男の料理教室においても、家で料理をする機会が増えたなどの意見が多くあり、また、引き続き実施して欲しいとの事業継続を希望する意見もいただきました。

なお、参加者が自分の好きな料理を楽しく作り、食事をしながら交流する「男の料理教室Ⅱ」も開催します。(支援金対象外事業)

#### ◆交流会の実施

交流会では、参加者同士が顔見知りになることを第1の目標とします。料理教室でグループとなったメンバーを中心に他のグループとも顔見知りを増やします。また、地域の課題などを話し合いながら、地域活動の重要性について意見交換し、南つつじヶ丘地域の現状について話し合います。

また、高齢者が生きがいを持ち、いきいきと生活していく上で何が必要かなども意見交換を行う予定です。この意見交換会に対して、昨年度参加者からは、何かやってみようという気持ちになった、参加者の話を聞いて良い刺激になった、等の意見が寄せられました。

今年度も、交流会を通じて、南つつじヶ丘地域を元気に明るくすることへの共通の思いや地域に対する思いが深くなることを目標とします。

なお、南つつじヶ丘地域以外の参加者も自分の地域の課題について考えてもらう機会として参加していただく予定です。

#### ◆私の亀岡再発見をテーマにした写真展の開催

写真展の開催に当たっては、講座受講者を始め地域住民の方からも写真を募集し開催します。さらには、写真展を通じて地域住民が交流できるような場を設けるなど、地域住民との交流が深められるよう工夫を行い実施します。

「明智かめまる君と写真を撮ろうコーナー」や「サロン」の実施により、住民同士が交流できる場を設けます。

写真展は、南つつじヶ丘コミュニティーセンターとガレリアかめおかロビーギャラリーを予定しています。地域の方々との交流を図るとともに、多くの方に写真を通じて亀岡再発見を感じてもらおう写真展にする予定です。

#### ◆シニア写真教室の実施

「シニアいきいき塾」の「シニア写真教室」では、カメラの基本から写真の構図や撮影のポイントなどをプロのカメラマンから学びます。教室の中では、参加者が受講期間中に撮影した写真を教材として、講師から撮影のヒントを学びます。そのため、写真の素材を求め出かける機会が多くなったり、写真を意識した物の見方をするようになるなど、写真を通して高齢者の生きがいづくりを進めていきます。

また、教室参加者同士の交流会も行い、仲間作りや、気のあった仲間との交流なども進めていきます。亀岡は自然に恵まれた街です。この亀岡を自分なりに再発見することをテーマにして写真教室を進めていきます。さらに、第3回の教室では、亀岡の歴史ある史跡等を散策しながら写真撮影会を行い、亀岡の魅力を再発見する機会にします。

普段外出することが少なくなった高齢者が、亀岡の自然や歴史ある町並み、普段の生活の中にある亀岡の写真を撮るために、参加者同士と、家族と、友人と歩くことは健康的にも、生きがい作りにも役立つと考えています。

#### ② 上記①を達成するための実施目標数値（事業の回数や参加者数など）

男の料理教室の開催	2回開催	定員10名	計20名
シニア写真教室の開催	4回実施	定員各約20名	計延べ約80名
写真展の開催	南つつじヶ丘コミュニティーセンター	2日間	参加者100名
	ガレリアかめおかロビーギャラリーでの写真展の開催	1週間	
男の料理教室Ⅱの開催	2回開催	定員10名	計20名

9. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。	
<p>本事業を実施するに当たっては、南つつじヶ丘自治会をお願いして、参加者募集の広報や会場となるコミュニティセンターの利用について協力をさせていただくこととしています。</p> <p>また、亀岡歴史散策と写真撮影会には、亀岡ふるさとガイドの会の協力を得て、歴史散策を行います。</p>		
10. ステップアップの内容	<p>※活動2年目以降の団体は記入してください。</p> <p>① これまでの事業実施時の課題と成果、② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べてどう活動の充実をさせているのか、具体的に記入してください。</p>	
<p>① 令和6年度は、「男の料理教室」を実施しましたが、参加者から継続希望が多くありました。そのため、引き続き男の料理教室を継続実施するとともに、より自由に交流し合える手法を取り入れた「男の料理教室Ⅱ」も実施する予定です。（支援金の対象外事業として実施）</p> <p>② 「私の亀岡再発見」をテーマにした写真展の開催により、1年目よりも多くの方との交流の場を作っていきます。また、写真展だけではなく、出展者と地域住民の方との交流の場を設けることにより、地域との繋がりを作っていきます。また、写真教室は、受講者だけが楽しむのではなく、亀岡の歴史を学びながら写真撮影を行う歴史散策を行います。また、その成果を写真展という形で地域住民との交流を図るとともに、ギャラリーかめおかでの展示を行い、亀岡の魅力を多くの方に感じていただく展示を行っていく予定です。</p>		
11. 次年度以降の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法(助成金・寄付金)
2年目		
3年目	男の料理教室の継続実施 シニア写真教室の継続実施 写真展の継続実施	参加費
11. 審査会	審査会の発表順番は何番を希望しますか。いずれかに○をつけてください。申請書の提出が早い団体の希望を優先して順番を決めます。	
	一番最初	
	前半	
○	後半	
	一番最後	

申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施します。

※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。